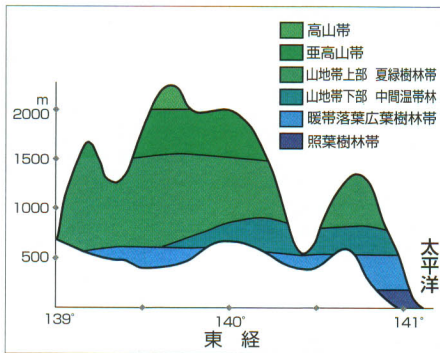


### (1) 福島県の植物



▲福島県の森林帯

南北に細長い日本列島の森林は北から、寒帯林、温帯林、暖帯林に分かれています。福島県は、ブナなどのある落葉広葉樹からなる温帯林と、スダジイ、アカガシなどの常緑広葉樹からなる暖帯林の境界部分に位置しています。会津・中通り・浜通りと大きく3つに分かれる福島県の中で、ここでは主に、阿武隈山地から太平洋側の植物が展示されています。

### (3) 河口

川の河口では、流れもゆっくりになり潮の干満によって海の水も混じるようになります。

ここでは、ビリンゴなどのハゼの仲間やコトヒキ、カレイの稚魚などが暮らしています。エサが豊富な河口域は、さまざまな海の魚たちが幼魚期を過ごす大切な場所です。



▲ビリンゴ



▲コトヒキ

### (2) 川

同じ川の中でも、上流、中流、下流と川はさまざまに姿を変えます。そして、その中ではさまざまな生物たちが、それぞれに合った環境にすみ分けをしています。流れの速い上流域では、イワナ・ヤマメが暮らしています。水の中にあまりエサが多くないところで暮らす彼らは岩陰などにひそみ、エサが流れてくるのを待ちます。また、速い流れの中で暮らすため

に、強い遊泳力を持っています。浅く流れの速い瀬と水のだんだんある川の中流域では、ウグイ、オイカワ、アユなどと魚の種類も多くなってきます。水槽の中では石の間などをよく探すと、オオヨシノボリやギバチの姿を見つけることができます。それぞれの生物の泳ぎ方や暮らしの違いも観察してみてください。



▲イワナ



▲オオヨシノボリ

### (4) 池

水の流れがほとんどない池や沼では、さまざまな水草が茂っています。人間にとって役に立たないように見える水草も、水の浄化や生活の場所などとして、動物たちにとって大切な役割をはたしています。植物が茂る中には、タナゴ

類やギンブナなどの魚以外にも、アメンボなどの水生昆虫、ニホンアマガエルなど、さまざまな生き物たちが暮らしています。



▲ニホンアマガエル

展示資料解説